



学校だより

ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

平成30年 9月28日

10月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 田中さくら

大型台風接近が心配される中でも、奇跡的に見事な中秋の名月を観測でき、ようやく秋の訪れを感じる頃となりました。

いよいよ創立30周年記念行事へ

校長 田中さくら

10月8日は、釜利谷南小学校の開校記念日です。今年は、創立30周年なので、5月のスポーツフェスタもニレーナちゃんが登場した30周年記念釜南スポーツフェスタになり、オリンピックの訪問、マリノスサッカー食育キャラバンやベイスターズ野球教室の出前授業、文化庁オペラシアター鑑賞会等、様々な取り組みがありましたが、いよいよ10日には、創立30周年記念全校児童集会、12日には創立30周年記念式典が行われます。

30周年おめでとう全校児童集会は「学校のことをよく知って、誕生日をお祝いする」というテーマで、校舎の中全てを使い、たてわり班で協力し合い、子どもたちも教職員もみんなで、校内ウォークラリーを楽しみます。

記念式典には、歴代の校長先生はじめ、近隣校の校長先生、地域の皆様、保護者代表でPTA役員の皆様、前教職員の皆様、そして、スペシャルゲストとして、校歌を作曲してくださった国立宇都宮大学教授で、日本教育大学協会全国音楽部門大学部会代表の木下大輔先生をお招きして、本校の創立30周年をお祝いする予定です。

誰にとっても居心地のよい学校づくり

8月28日に行われた「横浜子ども会議」に6年生の西山嘉人さんが参加しました。西山さんは9月21日の全校児童朝会で、次のように報告しました。「テーマは《誰にとっても居心地のよい学校づくり》でした。金沢区の小・中・高等学校の代表が話し合い、居心地をよくするためには他人とよい関係を保つことが大切だと考える人が多く、楽しみながら相手のことをよく知ることができる取り組みを工夫するとよいことがわかりました。例えば相手のことをよく知るクイズなどがいいなと思いました。横浜子ども会議に出席して、ほかの学校のいろいろな取り組みを知り、参考にしていきたいと思いました。」と話していました。



《朝会で話す西山さん》

同時に、児童会活動として夏休み前に行われた「友達50人とあいさつしようカード」で、あいさつをした人とさらにコミュニケーションをとるためのサイン集めの取り組みで、50人達成者もたくさんいましたが、カード2枚分の100人達成した人が23人もいたのでステージの上で表彰し、賞状を渡しました。そして、これからも「すすんで」「相手の顔を見て」「元気よく」「だれにでも」の4つのめあてを意識して、あいさつをしようとして確認しました。

本校では～友達を思いやり、友達とひびき合う心～を教育目標に掲げています。「ひびき合う心」を育てるために挨拶に力を入れて指導してきました。挨拶をする児童が増え、先日の学校運営協議会でも保護者や地域の方からお褒めの言葉をいただきました。相手のことを知りコミュニケーションをとって、居心地のよい学校にするために、まず気持ちのよい挨拶からスタートできるとよいと思います。

サッカーの楽しさと食育の大切さを学びました！



9月20日(木)、1年生が、サッカー食育キャラバンという出前授業で、横浜Fマリノスのコーチ2名に、サッカーの練習やゲームの仕方を体育館で教えていただき、サッカーを楽しみました。



その後、一緒に給食を食べて、食育として、朝ごはんの大切さや好き嫌いをしないで食べるよさについて、教えていただきました。どの子も一生懸命に、真剣にコーチの話を聞いて、サッカーも給食も楽しむことができました。